

# シゴトノコト

vol. 031

シゴトって面白い! 俺もシゴト頑張ろう!  
読めば力がわくインタビューサプリ

東北楽天ゴールデンイーグルス一軍打撃コーチ

## 大久保博元

OKUBO HIROMOTO



【氏名】 大久保博元  
 【ご職業】 野球のコーチ  
 【生年月日】 1967年2月 / 日生(満44歳)  
 【出身地】 茨城県水戸市  
 【仕事において絶対に譲れないこと】  
 人への信じ続ける事。

### 秋季キャンプで早くも手応え。 「来季、楽天が打てなかつたら 100パーセント自分の責任です」

東北楽天ゴールデンイーグルスの一軍打撃コーチに就任した、大久保博元氏。西武時代はアーリーワーク(早朝練習)などアイデアに富んだ指導法で強力打線を育て上げ、2008年日本一に貢献した手腕は球界でも高い評価を受けている。副将・星野仙一監督から「思っようにやってくれ」と絶大な信頼を受ける大久保流コーチング論とは?

——楽天の打撃コーチ就任、おめでとうございます。

「いろいろとあつたので、こんなに早く声をかけていただけるとは思ってもなかつたです。長年の夢だったラーメン店を、自分なりに勉強を重ねて、ちょうど10月の末にオープンさせたばかりでしたからね(笑)。  
早速、秋季キャンプに参加させてもらっただけですけど、星野

監督からは「思っようにやってくれ」って言われてますし、これ以来、楽天が打てなかつたら100パーセント自分の責任です」——今季はチーム打率2割、ホームラン53本(ともにリーグ5位)と、決して強力とはいえない楽天打線ですが、秋季キャンプではかなりの手応えを得られたようです。

「西武と比べてどうですか」とよく聞かれるんですが、僕のモットーとしてほかのチームと比べることはしません。巨人のとき、V9時代は、ああだった、こうだった、みたいなことをコーチから言われて、そんなの俺たちには関係ないよ、って思ってたから。だけど、楽天の選手たちは世間の評価とは

違つて初日のアーリーワークから振られていて驚かされたんです。最初、トスバッティング20球×3箱が限界かと思つていたら、初日からそれを軽々こなしてしまつた。だから翌日から200球×5箱がノルマになり、最後の10日間はそれが300球×5箱になった。一般のファンの方はわからないかもしれませんが、1500回振つてというのはトシモノイことなんですよ。

——振つて振つて振り込ませるのが大久保流ですが、これにはどのような理由が? 「運動生理学的には、人間、体が入つてくるうちは、いい形を体が覚えないうちは、いい形を徹底的に疲れさせて余分な力が入らなくなつたとき、初めてい

いフォームを体が覚える。その意味で、かつては「根性論」と思われていた千本ノックにも実は意味があつたということが今は立証されているわけです」——そうした大久保流指導に早くも対応している楽天の選手たちの能力は高い、と。

「楽天に限らず、プロに入つてくる選手はみんな野球の天才ですよ。結果が出ないのは、たまたま数をやれる体力がないとか、数はやつていくけど間違つた方向にいってるかだと思つてます。そういうのをひとつひとつ解きほぐしてあげるのがコーチの役目なんだから、選手は悩まず思いつ切りやればいい。よく「アイツはダメだ」って言うコーチがいますけど、ダメにしてるのはコーチなんじゃないの? って僕は思いますね」

### 人のせいにして、嘘をつき言い訳して いた現役時代

——現役時代に身をもって感じたコーチたちの理不尽さみたいなものも、反面教師として大久保さんのコーチングに影響を与えているのでしょうか? 「それはありますね。やっぱり言っていることがいつも違うコ



ーチや、自分で責任を取らないコーチは選手も絶対に信用しない。現役時代、あるコーチが僕に「長いバットを使つてみる」って言うので発注して、代打で出たときに初めて使つたんです。確か西宮球場で初球をバット! って振つたらサードフライで。それを見た監督に「バットが長いんじゃないか」って注意されたんですけど、勤めたコーチも一緒に「おまえ、長いぞ!」と怒つてきて(苦笑)。

だから「わかりました」って言つて、その場でバット捨ててやりませんでした(笑)。そんな筋の通らないこと言われたら子供でもグレますよ(笑)。

——そんな理不尽なコーチとあつたって、大久保さんは、「人のせいにするな、嘘をつくな、言い訳をするな」と選手たちに

指導されているとか。

「僕がそれ、全部やつてたんで(苦笑)。使つてもらえないのを人のせいにして、言い訳して、嘘ついで。その間、ずっと二軍暮らしでした。でも、やっぱり人の評価は正しいんだ、自分の努力が足りないんだと考えられるようになったら、ジャイアンツに声をかけてもらえて。だから、そこは実体験として選手に話しています」

——逆に印象に残っている、いいコーチはどなたですか?

「新人のときにお世話になつた土井正博さんですね。入団1年目で二軍の4番を任せられたんですけど、ケガもあつて全然打てなかつたんです。僕も18歳でしたし、「もう代えてください」って弱音を吐いたら、「俺はおまえを4番から外さない。外したら普通の選手以下で終わるぞ。どつちを選ぶんだ」って叱責されたんです。その後もあまり打てなかつたんですけど、打てないことに関しては何も文句は言われませんでしたね」

——大久保さんのことを信じて使ひ続けたんですね。

「ええ。でも、その土井さんから一度だけ怒られたのは、二軍の試合の1打席目で、中途半端なスイングで初球をゴロにして

しまつたとき。ヒットを打てなかつたことではなく、きちんと振らなかつたこと、打席に入る準備ができていなかったことを猛烈に怒られました。「すぐに荷物とめろ!」と言われ、そのまま土井さんの車で所沢に帰され、マンツーマンで7時間もマシンを打たされたんです。で、へくへくになつて宿舍の部屋でぶつ倒れてたら、「何しとんじゃ! やるだけやつたら遊びにいかんかい!」って、「いや、門限過ぎてます」って言ったら「関係あるか。次、見回りに来たときに部屋におつたら罰金取るぞ!」って(笑)。

——いいコーチですね。

「責任持つてくれる人でしたよね。やっぱり信じないと人は育たないんですよ。絶対できると期待をかければ、人はそれに応えようとする。ピグマリオン効果といつて教育心理学でもそれは証明されているんですよ」

——楽天でも選手をとことん信じて信頼関係をつくつていくわけですね。

「選手って、男と付き合ひ始めた女の口みたいに、みんな一生懸命。そういう心理をいかにくみ取るかもコーチの大事な仕事だと思います」



【情熱! つけ廻し、大久保】昔からライオン好きだった大久保氏の念願が、この10月に東京・中野につけ廻し店をオープン。オーナーではなく、大久保氏も時々の許す限り、毎日厨房に入り、仕込みから自分でこなしている。現在は高層だけの営業。東京都中野区松が丘1-7-4

【「アーブ・ベースボールアカデミー」】アーブ氏がコーチ時代にも導入していた「選手別カルテ」を用いて、最大3名という少人数制で個人指導を行なっている。メインは

- 1984 水戸商業高校からドラフト1位で西武に入団
- 1987 西武時代は主に代打としてベンチを温める
- 1992 シーズン中のトレードで巨人入団。大久保の愛称で親しまれる
- 1996 ケガの影響で28歳で引退。引退後は野球解説者、タレント、プロコルファアとして活躍
- 2008 西武一軍打撃コーチに就任
- 2010 西武を解雇される
- 2011 楽天一軍打撃コーチに就任

